

中央博サークル「生きものサークル」のこと

関 信 一 郎 ・ 伊 藤 文 子

知識が増えてますます分かってきたことは、この地球はもともと昆虫の惑星だということ！人間はここにごく最近現れて「オジヤマ虫」をしているということ！4億年という長い長い時間をかけて、今も生き続ける虫は、一年程のサイクルを延々と繰り返して、改良（進化）を重ねた今がある！まさに研鑽を重ねた命の別世界が目前に展開しているのだ。そんな虫の生態を知ればいちいち驚くことばかり。

中央博物館友の会の活動を引き継ぎたいと、平成26年に「生きものサークル」が発足して5年経ち、未就学児からシニアまでの幅広い年齢層から成るメンバー数は約60名となった。

青葉の森を皆で歩いて生きた昆虫を探すことは、大人も子供も楽しい限り。そこに目新しい虫を見つけて子供と一緒に興奮をすることは今も昔も変わらない。平成28年には珍種「キボシツツハムシ」も確認できた。青葉の森も例外なく、独特の生態で生きている昆虫の世界があることを知るの感動だ。昆虫採集だけで充分時間は過ぎせるのだが、生きものをもっと知りたいとの欲求はまだまだ広く深い。

そこで博物館の先生方をお願いして講座を開いてもらうのは、また生物世界を大きく広げてくれるもの！千葉中央博物館の各専門分野で深く最新の研究をされている先生方のお話を聞けるとは何てラッキーなこと



青葉の森の虫さがし



サルの骨の観察会

でしょう！今までお世話になった先生方（下記）に心から感謝ですー！

（生きものサークル幹事）

これまでの期日とテーマの一覧（*は大人向け講座）

	(日)	(テーマ)	(場所)	(講師)
H26.	8. 15	セミのぬげがらさがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
H27.	5. 23	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
	7. 7*	両生爬虫類に関する話	研修室	栗田隆気先生 (動物学研究科)
	12. 1*	私のミャンマーとその虫たち	研修室	倉西良一先生 (環境教育研究科)
H28.	5. 22	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
	6. 18	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
	11. 15*	魚類環境DNA メタバーコーディング	研修室	宮正樹先生 (生態・環境研究部長)
H29.	2. 21*	サルの骨の観察会	研修室	下稲葉さやか先生 (動物学研究科)
	5. 21	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
	6. 24	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (資料管理研究科)
	12. 19*	魚のような不思議な哺乳類	研修室	宮川尚子先生 (教育普及課)
H30.	2. 20*	お宝は、化石と遺体とうんち！？	研修室	丸山啓志先生 (地学研究科)
	5. 27	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (自然誌・歴史研究部長)
	6. 23	青葉の森の虫さがし	青葉の森	斉藤明子先生 (自然誌・歴史研究部長)
	10. 30*	地衣類の観察	研修室	坂田歩美先生 (教育普及課)
H31.	1. 29*	氷期の森—植物化石から探る2万年前の日本	研修室	西内李佳先生 (教育普及課)